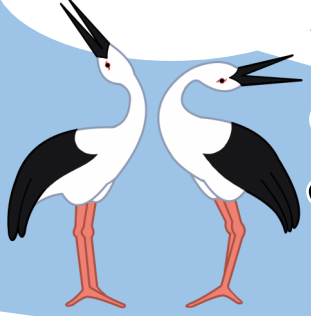


コウノトリ



毎週月曜日更新

カタカタ通信

第161号

「コウノトリの体重測定作戦」

2025年1月27日

動物たちの健康管理をおこなう上で1つの指標となるのが、“体重”



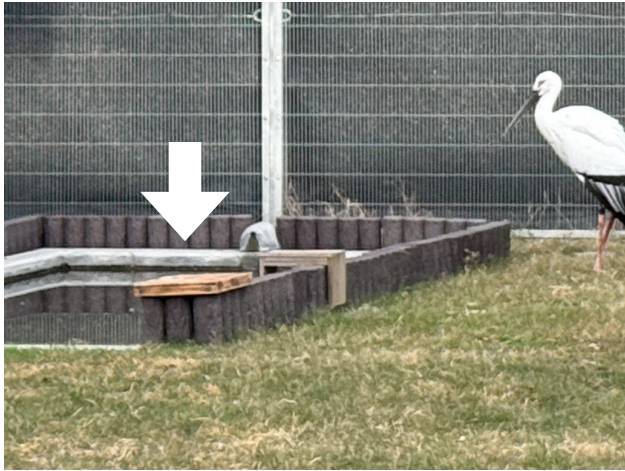
コウノトリの体重、量れたらなあ

です。飼育しているコウノトリの体重がわかったら、健康管理に役立てられるのにと考えていました。ただ、体重を量るたびに捕まえるわけにもいきません。そこで、とある作戦を思いつきました。今回は、その作戦が紆余曲折を経て成功するまでの物語、前編です。

始まりは、「体重測定ができるバスマットがあるみたいです」という提案からでした。話を聞いてみると、その体重計に乗るだけで勝手に計測をしてくれて、データをスマホに送ってくれるというものです。コウノトリが偶然にも体重計に乗ってくれれば、ストレスなく日常的に体重を量れるかも…。「なんだかいける気がする!」と思い、さっそく「コウノトリの体重測定作戦」を開始しました。気軽に始めたこの作戦ですが、こんなに大変になるとは思っていませんでした。

作戦1 木の箱をつくろう

まず、体重計の見た目ではコウノトリたちは乗ってくれないだろうと考え、体重計を隠す木の箱を作ることになりました。というのも、飼育ケージ内に普段見慣れない全く新しい物を入れると、コウノトリたちは警戒して近づきません。以前、GoProを飼育ケージ内の地面に置



木の箱を置いてみました

き、撮影しようと試みましたが、慣れないうちはこんな小さなカメラでも近づくことはありませんでした。

そこで体重計を隠せる木の箱を作り、この上に乗るかどうかの実験をしてから、体重計を購入することになりました。

飼育ケージ内に早速設置してみると、割とあっさり乗ってくれました。

普段から擬木の上に乗ることもあり、地面から一段上がったところは好きなようです。のんびり羽づくろいをする姿を見て、私は「しめしめ、これで体重が量れそうだ」と喜んでいました。

作戦2 体重を量ってみよう

続いては、体重計を購入して計測してみることにしました。木箱の中に体重計をいれて置いておくと、さっそく空（♂）が乗ってくれます。ウキウキしながら体重計を回収し、スマホにデータを送信しました。ですが、何度送信ボタンを押しても結果が送られてきません。



空が乗ってくれました！



箱の中に体重計が入ってます

がっかりしながら、原因を探るため、体重計の上にコウノトリと同じ5kgの重りを置きます。ピピッと音が鳴るはずですが、全く反応しません。自分の力で体重計を押してみてもようやくわかったのですが、「人用だからコウノトリの重さではスイッチが反応しない！！」ことがわかりました。言われてみたら当たり前だったのですが、盲点でした。せっかく買ったのにと、ショックな気持ちもありつつ、何とかコウノトリ用で使うための検証を始めることにしました。



たくさん押さないと反応しない！？

人用だからコウノトリ
の重さだと体重計が
反応しない！？



次回、コウノトリの体重をこの体重計で測定することはできるのか？
第164号「コウノトリの体重測定作戦～10kgの重りが欲しい～」でお会いしましょう。

天空の里 鴻巣市コウノトリ野生復帰センター

飼育担当：佐藤